

第3回福岡県がんピア・サポーター養成研修

◆研修の目的

がん患者の不安や悩みを軽減するために、がんを経験した者もがん患者に対する相談支援に参加することが必要であることから、基本的ながんの知識やコミュニケーションスキルを学んだ「がんピア・サポーター」を養成し、県内のがん診療連携拠点病院等で行われるがんサロン等におけるピア・サポートの活用を推進するものです。

- ①日 時 1日目：令和6年10月12日（土）9：00～16：30
2日目：令和6年10月19日（土）9：00～16：30
- ②会 場 吉塚合同庁舎Y603A会議室（福岡市博多区吉塚本町13-50）
- ③対 象 者 がん患者若しくはその家族・遺族
- ④参加人数 20～30人

研修プログラム

講 義 内 容	講 師
1 日 目	
受講オリエンテーション	NPO法人がんサポーター
自己紹介（アイスブレイキング）	NPO法人がんサポーター
ピアサポートとは	がん・バツテン・元気隊
相手を大切にすること、自分を大切にすること （バウンダリーについて、ピアサポーターが知っておくと良い情報）	浜の町病院 伊原 出 氏 （臨床心理士）
がん診療の基礎知識と 情報提供の注意点	九州医療センター がん相談支援センター長 高見 裕子 氏
ピアサポーターの活動方針	がん・バツテン・元気隊
自分の体験の語り方 ①自分の体験の語り方 ②自分の体験を整理してみよう（ワークショップ） ③自分の体験を話してみよう	がん・バツテン・元気隊
質疑応答	
2 日 目	
コミュニケーションの方法	社会保険田川病院 緩和ケア内科部長 佐野 智美 氏
【ロールプレイングによる演習】 （1）デモンストレーション （2）グループ別 ロールプレイング 3回程度 （3）模擬相談演習	
グループファシリテートの方法	
行政や医療機関の役割	（行政の役割） 福岡県がん感染症疾病対策課 担当者 （医療機関の役割） 済生会福岡総合病院 医療ソーシャルワーカー 阿比留 典子 氏
質疑応答 講評等	
別 途 日 程	
上記プログラムを受講後、別日でピア・サポート体験を行う実地研修を行います。	

お申込み方法：別紙「申込書兼承諾書」を福岡県HPよりダウンロード⇒
研修運営者「NPO法人がんサポーター」へ下記メールで提出
nsa03514@nifty.com ※詳しくは福岡県HPをご確認ください。

